

ハザードマップに掲載した洪水浸水想定区域図について

洪水ハザードマップは、大雨で河川の水があふれ出たときに「どこがどのくらい浸水するか」「どこへどのように避難したらよいか」等をまとめた地図です。

国又は新潟県では、近年、集中豪雨により浸水被害が多発していることを踏まえ、水防法が改正された平成27年5月以降、浸水想定を「おおむね30年から100年に1回降る大雨（計画規模降雨）」から「おおむね1,000年に1回降る大雨（想定最大規模降雨）」に変更し、順次公表しています。

本ハザードマップは、既に国と新潟県が公表している25河川と、令和6年8月までに新潟県が新たに公表した43河川※（関川水系25河川、柿崎川9河川、桑取川水系4河川、名立川水系5河川）の洪水浸水想定区域図を基に、令和7年3月に上越市が作成しました。

なお、今回新たに公表された43河川については、令和3年7月の水防法改正により、大規模河川に加えて、小規模河川も指定・公表が義務化されたことを受け、新潟県において多くの小規模河川の速やかな調査が必要となり、「氾濫流」と「河岸侵食」及び「浸水が続く時間」の調査を実施していないため、ハザード（危険な区域）は「浸水域」と「浸水深」のみを表示しています。

※43河川のうち、保倉川、飯田川、柿崎川、米山川、吉川の5河川の洪水浸水想定区域は、既に指定・公表されている下流の地域に、新たに上流の地域が追加されました。

上越市洪水ハザードマップ ～知る・学ぶ・備える～



4ページ～21ページ

- 気づきマップで上越市の災害リスクを知りましょう。
- 命を守る対応や情報について知りましょう。



22ページ～99ページ

- マイ・避難マップで、自宅や勤務先周辺等の浸水する場所と深さ、避難行動等を学びましょう。



100ページ～裏表紙

- 非常持出品や備蓄品の用意、防災行動計画（マイ・タイムライン）の検討、地域の防災訓練への参加を通じて、災害に備えましょう。

氾濫流・河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域とは

氾濫流

堤防が決壊し、河川から流れ込む水の力により、一般的な木造住宅が、倒壊・流出するおそれのある区域です。この区域の住民の方は、早期の立退き避難が必要です。



提供：新潟県

河岸侵食

河川の激しい流れにより河岸が削られ土地が流出し、住宅が倒壊・流出するおそれのある区域です。この区域の住民の方は、早期の立退き避難が必要です。



提供：新潟県

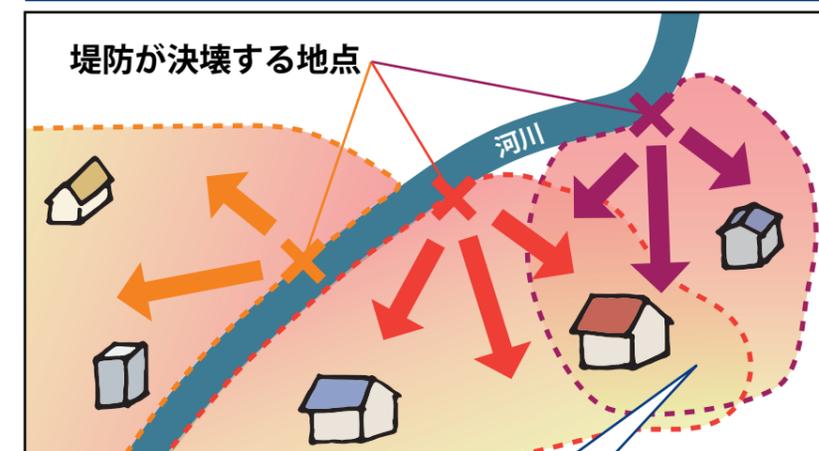
浸水の想定

河川ごとに堤防が決壊する地点を複数設定※し、それぞれの地点で決壊した場合に浸水する区域と深さを想定します。その全てを重ね合わせて最悪の状況をハザードマップに表示（着色）しています。

このため、ハザードマップで表示（着色）した全ての区域が一斉に浸水することはありません。

※例えば、堤防が決壊する地点として、関川では158地点、保倉川では126地点を設定しています。

浸水区域の広さと深さのイメージ



浸水区域が重なるところは、最も深い浸水深の値をハザードマップに表示しています。

市の防災情報

- この洪水ハザードマップには、洪水時に利用できる避難所も表示しています。地震や津波など各種災害時の避難所は、防災ガイドブック・避難所マップでご確認ください。
- ハザード（危険な区域）内の要配慮者利用施設は、地域防災計画に掲載しています。
- 上越市では、洪水・土砂災害以外にも、津波、内水、ため池ハザードマップを作成しています。

ハザードマップ等の種別	掲載内容
津波ハザードマップ	津波浸水想定区域図、避難所
内水ハザードマップ	内水浸水想定区域図、避難所
ため池ハザードマップ	防災重点ため池浸水想定区域図、避難所
防災ガイドブック・避難所マップ	地震、水害、津波、土砂災害、大規模火災の対策や地区ごとの避難所

これらの各種ハザードマップや防災情報は、市のホームページでご確認ください。

上越市ホームページ

URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>